

先 ー 2 ー 1
2 6 . 1 . 1 6

平成25年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について

平成25年度（平成24年7月1日～平成25年6月30日）実績報告より

	第2項先進医療 （先進医療A）	第3項先進医療 （先進医療B）	計
① 先進医療技術数 （平成25年6月30日現在）	65種類	42種類	107種類
② 実施医療機関数 （平成25年6月30日現在）	483施設※ ¹	224施設※ ¹	604施設※ ²
③ 全患者数	19,699人	966人	20,665人
④ 総金額（⑤＋⑥）	約186.3億円	約17.2億円	約203.5億円
⑤ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約57.3億円	約13.3億円	約70.6億円
⑥ 先進医療費用の総額	約129億円	約3.9億円	約132.9億円
⑦ 1入院全医療費のうち先進医療分の割合（⑥／④）	69.2%	22.7%	65.3%

※1 1施設で複数の先進医療技術を実施している場合でも、1施設として計上している。

※2 1施設で第2項先進医療（先進医療A）と第3項先進医療（先進医療B）の両方を実施している場合でも、1施設として計上している。

< 過去5年間の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用療養 費の総額 (保険診療分)	先進医療の総 額	1入院全医療費のう ち先進医療の割合
平成21年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H20.7.1～H21.6.30	107	519施設	20,013人	約173億円	約107億円	約65億円	37.8%
平成22年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績 ^{※1}	H21.7.1～H22.6.30	110	488施設	9,775人	約132億円	約54億円	約78億円	59.0%
平成23年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H22.7.1～H23.6.30	123	522施設	14,505人	約173億円	約75億円	約98億円	56.5%
平成24年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績 ^{※2}	H23.7.1～H24.6.30	102	553施設	14,479人	約146億円	約46億円	約100億円	68.5%
平成25年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H24.7.1～H25.6.30	107	604施設	20,665人	約204億円	約71億円	約133億円	65.3%

※1 平成22年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

※2 平成24年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

平成25年6月30日時点における
第2項先進医療技術(先進医療A)に係る費用

先 - 2 - 1
(参考資料1)
26. 1. 16

平成25年度実績報告(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)
1	高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	平17. 10. 1	129,423,090	44,849,000	11.5	149
2	膝靱帯再建手術における画像支援ナビゲーション	平17. 12. 1	100,013,199	2,984,000	15.8	73
3	凍結保存同種組織を用いた外科治療	平18. 1. 1	319,765,462	30,589,565	52.6	40
4	造血管腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	平8. 12. 1	175,940	57,800	-	2
5	悪性高熱症診断法(スキンドファイバー法)	平9. 7. 1	1,297,880	1,240,960	-	8
6	先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	平10. 10. 1	3,728,530	520,000	3.7	15
7	三次元形状解析による体表の形態的診断	平11. 9. 1	30,178,264	602,300	17.5	19
8	陽子線治療	平13. 7. 1	6,841,257,877	5,611,430,000	17.7	2,170
9	成長障害の遺伝子診断	平13. 3. 1	-	-	-	-
10	経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	平15. 4. 1	35,098,240	7,003,620	39.2	16
11	骨髄細胞移植による血管新生療法	平15. 7. 1	34,544,728	7,350,916	19.1	25
12	ミトコンドリア病の遺伝子診断	平15. 9. 1	-	-	-	-
13	神経変性疾患の遺伝子診断	平15. 9. 1	12,338,022	650,300	2.2	33
14	難治性眼疾患に対する羊膜移植術	平15. 11. 1	61,218,568	10,611,334	10.3	145
15	重粒子線治療	平15. 11. 1	4,366,575,508	3,905,362,000	18.6	1,286
16	硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	平16. 8. 1	29,085,009	9,899,790	8.8	61
17	重症BCG副反応症例における遺伝子診断	平16. 8. 1	-	-	-	-
18	自家液体窒素処理骨移植	平16. 11. 1	156,685,762	2,489,400	96.9	24
19	マントル細胞リンパ腫の遺伝子検査	平16. 11. 1	96,550	30,600	-	1
20	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	平16. 11. 1	128,330,559	1,309,800	64.4	31
21	Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子検査	平16. 11. 1	-	-	-	-
22	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	平16. 12. 1	124,800	124,800	-	2
23	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	平16. 12. 1	5,195,600	1,482,540	12.3	6
24	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	平17. 2. 1	22,844,933	8,644,800	15.2	21
25	末梢血幹細胞による血管再生治療	平17. 6. 1	29,672,261	4,394,565	30.7	20
26	末梢血単核球移植による血管再生治療	平17. 6. 1	40,897,937	6,318,640	29.4	25
27	CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	平19. 4. 1	2,658,750	804,000	-	67
28	非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	平19. 4. 1	292,108,330	24,081,984	33.9	92
29	X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	平19. 4. 1	2,831,330	2,428,100	-	33
30	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	平19. 6. 1	7,079,509	2,249,600	0.5	110
31	歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	平19. 10. 1	28,324,303	19,646,913	-	321
32	セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	平19. 11. 1	-	-	-	-

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)
33	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	平17. 2. 1	81,361,872	71,480,000	1.6	80
34	自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	平10. 2. 1	42,228,179	34,711,448	6.8	25
35	自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	平8. 11. 1	134,015,487	65,783,110	4.9	172
36	EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	平20. 2. 1	845,522,569	2,373,420	45.6	181
37	多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	平20. 7. 1	3,070,013,617	2,693,098,581	1.3	5,248
38	フェニルケトン尿症の遺伝子診断	平20. 7. 1	-	-	-	-
39	培養細胞によるライソゾーム病の診断	平20. 7. 1	392,760	112,000	3.5	2
40	腹腔鏡下子宮体がん根治手術	平20. 7. 1	312,035,299	151,702,778	11.0	289
41	培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	平20. 8. 1	-	-	-	-
42	RET遺伝子診断	平20. 9. 1	4,873,483	912,930	5.8	11
43	角膜ジストロフィーの遺伝子解析	平20. 12. 1	2,610,570	297,200	2.3	13
44	光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	平21. 4. 1	246,325,866	23,936,594	4.3	1,959
45	内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	平21. 5. 1	42,430,398	10,512,381	12.8	91
46	歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	平21. 5. 1	1,235,025	1,090,160	-	44
47	実物大臓器立体モデルによる手術支援	平21. 7. 1	240,328,323	14,392,902	26.4	124
48	単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染迅速診断(リアルタイムPCR法)	平21. 9. 1	7,448,375	291,000	8.1	15
49	網膜芽細胞腫の遺伝子診断	平21. 11. 1	453,925	445,800	-	5
50	胸腔鏡下動脈管開存症手術	平22. 1. 1	82,303,530	1,512,000	55.3	18
51	腹腔鏡下スリープ胃切離術	平22. 1. 1	88,451,304	27,756,700	22.6	65
52-01	(自ら当該技術の全部を実施する保険医療機関) IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	平22. 8. 1	33,012,133	7,205,200	0.9	370
52-02	(2)(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関) IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	平24. 11. 1	1,002,880	264,000	-	12
52-03	(3)(2)に規定する保険医療機関から検体の採取以外の業務を受託する保険医療機関) IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	平24. 11. 1	-	-	-	-
53	前眼部三次元画像解析	平23. 2. 1	212,249,235	21,069,982	0.4	5,337
54	有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	平23. 3. 1	208,580	161,330	-	49
55-01	(自ら当該技術の全部を実施する保険医療機関) 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平23. 7. 1	-	-	-	-
55-02	(2)(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関) 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平24. 4. 1	156,625,723	1,409,850	135.1	15
55-03	(3)((2)に規定する保険医療機関から検体の採取以外の業務を受託する保険医療機関) 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平24. 4. 1	-	-	-	-
56	最小侵襲椎体椎間板搔爬洗浄術	平23. 7. 1	8,718,550	1,562,400	23.9	7
57	短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	平23. 8. 1	13,926,076	1,228,600	95.0	1
58	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療	平23. 10. 1	33,664,831	2,292,603	74.4	12
59	短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する生体ドナーからの小腸部分移植	平23. 10. 1	-	-	-	-
60	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療	平23. 11. 1	-	-	-	-

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)
62	腹腔鏡下仙骨腫固定術	平24. 4. 1	19,893,648	7,879,483	8.0	28
63	硬膜外自家血注入療法	平24. 6. 1	164,778,040	18,696,150	8.9	527
64	食道アカシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	平24. 9. 1	110,443,654	31,640,400	8.5	201
65	MEN1遺伝子診断	平24. 9. 1	2,764,173	202,800	24.0	2
66	金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	平24. 12. 1	52,870	35,600	-	1
合 計			18,640,921,916	12,901,214,729		19,699

※ 未実施により実績報告がないものは「-」としている。

※ 整理番号が欠番となっている技術は、平成24年度診療報酬改定以降、実施医療機関の取り下げ申請等により、先進医療から削除となった技術である。

平成25年6月30日時点における
第3項先進医療技術(先進医療B)に係る費用

平成25年度実績報告(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

先 - 2 - 1
(参考資料2)
26. 1. 16

整理番号	技術名	適用年月日	総合計(円)	先進医療総額(円)	平均入院期間(日)	年間実施件数(件)
1	頸部内視鏡手術 甲状腺濾胞腺腫、腺腫様甲状腺腫、パセドウ病又は原発性上皮小体機能亢進症	平11. 6. 1	26,492,623	6,506,483	6.3	53
3	化学療法に伴うカフェイン併用療法 悪性骨腫瘍又は悪性軟部腫瘍	平16. 1. 1	343,235,379	7,346,000	139.9	54
4	胎児尿路・羊水腔シャント術 胎児閉塞性尿路疾患	平16. 12. 1	1,253,070	42,400	23.0	1
5	筋過緊張に対する筋知覚神経ブロック治療 ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈するもの	平16. 11. 1	1,120,336	50,400	4.4	5
6	経皮的肺がんラジオ波焼灼療法 原発性又は転移性肺がん(切除が困難なものに限る。)	平16. 12. 1	-	-	-	-
7	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん	平16. 12. 1	594,030	188,000	10.0	1
8	経皮的腎がんラジオ波焼灼療法 原発性又は転移性腎がん(切除が困難なものに限る。)	平16. 12. 1	-	-	-	-
9	内視鏡下甲状腺切除術 甲状腺乳頭癌	平17. 2. 1	9,286,640	2,942,100	4.6	21
13	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	平17. 4. 1	31,916,800	1,213,340	21.3	19
14	副甲状腺内活性型ビタミンDアナログ直接注入療法 二次性副甲状腺機能亢進症(維持透析を行っているものに限る。)	平17. 6. 1	22,170	17,970	-	1
15	ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術 原発性若しくは転移性肝がん又は肝良性腫瘍	平17. 9. 1	29,381,597	6,563,500	22.7	15
16	根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援 前立腺がん	平21. 1. 1	-	-	-	-
17	内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(一箇所のみを吻合するものに限る。)	平21. 8. 1	5,667,050	1,676,000	15.0	2
18	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	平21. 12. 1	199,670,949	19,166,050	18.1	98
19	経カテーテル大動脈弁留置術 重度大動脈弁狭窄症(弁尖の硬化変性に起因するものに限る。)	平22. 4. 1	110,881,298	37,500,000	31.3	25
20	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)	平22. 5. 1	205,385,995	28,971,537	33.1	106
21	パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びペバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)	平22. 5. 1	83,045,209	76,277,887	0.9	17
22	蛍光膀胱鏡を用いた5-アミノレブリン酸溶液の経口投与又は経尿道投与による膀胱がんの光学的診断 筋層非浸潤性膀胱がん	平22. 6. 1	65,087,944	4,251,000	9.5	109
23	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに限る。)	平22. 6. 1	16,371,180	11,021,600	-	15
24	パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん(腹膜に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージⅡ若しくはⅢであって肉眼型分類が3型(長径が8センチメートル以上のものに限る。)	平22. 7. 1	35,229,813	821,600	39.5	13
26	経胎盤の抗不整脈薬投与療法 胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)	平22. 7. 1	9,734,927	437,918	25.0	7
27	低出力体外衝撃波治療法 虚血性心疾患(薬物療法に対して抵抗性を有するものであって、経皮的冠動脈形成術又は冠動脈バイパス手術による治療が困難なものに限る。)	平22. 7. 1	6,037,436	2,341,728	13.8	8
28	残存聴力活用型人工内耳挿入術 両側性感音難聴(高音障害急墜型又は高音障害漸傾型の聴力像を呈するものに限る。)	平22. 8. 1	2,472,820	331,110	13.3	4
30	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	平22. 11. 1	-	-	-	-
31	転移性又は再発の腎細胞がんに対するピロリン酸モノエステル誘導γδ型T細胞及び含窒素ビスホスホン酸を用いた免疫療法 サイトカイン不応性の転移性又は再発の腎細胞がん	平22. 11. 1	-	-	-	-

整理番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)
32	神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びペ バシズマブ静脈内投与療法 神経症状を呈する脳放射線壊 死(脳腫瘍又は隣接する組織の腫瘍に対する放射線治療 のものに限る。)	平23. 4. 1	18,922,987	12,201,517	8.1	16
33	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性 乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性の ものに限る。)	平23. 4. 1	75,856,791	53,908,880	0.2	181
34	血液透析併用バルーン塞栓動脈内抗がん剤投与及び放射線 治療の併用療法 局所浸潤性膀胱がん(尿路上皮がんを組 織型とするものであって、従来の治療法による治療が困難な ものに限る。)	平23. 7. 1	-	-	-	-
35	急性心筋梗塞に対するエボエチンペーザ投与療法 急性心筋 梗塞(再灌流療法の成功したものに限る。)	平23. 8. 1	121,951,054	372,354	14.8	62
36	ボルテゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメ タゾン経口投与の併用療法 原発性ALアミロイドーシス	平23. 10. 1	9,360,931	7,814,103	13.7	3
37	培養骨髄細胞移植による骨延長術 骨系統疾患(低身長又 は下肢長不等である者に係るものに限る。)	平23. 11. 1	55,452,570	2,526,300	98.1	7
38	NKT細胞を用いた免疫療法 肺がん(小細胞肺がんを除き、 切除が困難な進行性のもの又は術後に再発したものであ って、化学療法が行われたものに限る。)	平23. 12. 1	8,940,850	8,393,000	-	8
39	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併 用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、 病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限 る。)	平23. 12. 1	159,350,608	84,433,426	30.7	76
40	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法 非小細胞肺 がん(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	平24. 6. 1	3,454,970	3,300,000	-	4
41	解離性大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術 保存治療 が困難なスタンフォードB型解離性大動脈瘤	平24. 7. 1	14,006,710	2,700,000	17.9	9
42	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール 塞栓症	平24. 11. 1	-	-	-	-
43	慢性心不全に対する和温療法 慢性心不全	平24. 11. 1	53,322,882	1,985,700	44.3	19
44	重症心不全に対する免疫吸着療法 重症心不全(心抑制性 抗心筋自己抗体が陽性であって、従来の治療法に抵抗性を 有するものに限る。)	平24. 12. 1	10,914,986	5,709,780	27.6	5
45	自己口腔粘膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術 角膜 上皮幹細胞疲弊症(二十歳以上かつ書面により同意した場合 であって、移植の対象となる眼球の角膜上皮幹細胞が角膜全 体にわたり疲弊し、角膜の表面全体が結膜組織で被覆されて いるものに限る。)	平25. 1. 1	2,013,370	550,000	55.0	1
46	NKT細胞を用いた免疫療法 頭頸部扁平上皮がん(診断時の ステージがⅣ期であって、初回治療として計画された一連の 治療後の完全奏功の判定から八週間以内の症例(当該期間 内に他の治療を実施していないものに限る。))に限る。)	平25. 3. 1	1,167,280	365,000	10.0	1
47	食道がんの根治的治療がなされた後の難治性の良性食道狭 窄に対する生分解性ステント留置術 食道がんの根治的治療 がなされた後の難治性の良性食道狭窄(内視鏡による検査 の所見で悪性ではないと判断され、かつ、病理学的見地から 悪性ではないことが確認されたものであって、従来の治療法 ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	平25. 5. 1	-	-	-	-
48	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞 投与療法 C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child-Pugh 分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法 (肝移植術を除く。))ではその治療に係る効果が認められない ものに限る。)	平25. 6. 1	-	-	-	-
合 計			1,717,603,255	391,926,683		966

※ 未実施により実績報告がないものは「-」としている。

※ 整理番号が欠番となっている技術は、平成24年度診療報酬改定以降、使用する医薬品・医療機器の薬事承認に伴う保険適用や
実施医療機関の取り下げ申請等により、先進医療から削除となった技術である。

先 ー 2 ー 2
2 6 . 1 . 1 6

1年間(平成24年7月1日～平成25年6月30日)の実施件数が0件である
先進医療技術(先進医療A)に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	実施医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 平成23年7月～平成24 年6月までの実績 (実施可能であるすべ ての医療機関の実績)
9	成長障害の遺伝子診断	神戸大学医学部附属病院	対象患者がいなかったため。	引き続き実施予定。また、他医療機関との共同実施の申請について検討する。	0件
12	ミトコンドリア病の遺伝子診断	—	平成23年4月1日付けで申請取り下げしているため。	—	0件
17	重症BCG副反応症例における遺伝子診断	九州大学病院	対象患者がいなかったため。	引き続き実施予定。また、他医療機関との共同実施の申請について検討する。	1件
21	Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子検査	—	平成23年4月1日付けで申請取り下げしているため。	—	0件
32	セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	京都大学医学部附属病院	医師の異動により、実施困難となったため。	取り下げ届出を提出する予定。	1件
38	フェニルケトン尿症の遺伝子診断	大阪市立大学医学部附属病院	対象患者がいなかったため。	引き続き実施予定。また、他医療機関との共同実施の申請について検討する。	3件
41	培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	島根大学医学部附属病院	対象患者がいなかったため。	引き続き実施予定。また、他医療機関との共同実施の申請について検討する。	0件
59	短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する生体ドナーからの小腸部分移植	東北大学病院	対象患者がいなかったため。	引き続き実施予定。	0件
60	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療	大阪大学医学部附属病院	手術後のリハビリテーションの提供体制の整備を行っていたため。	引き続き実施予定。	0件